

## ○合同ゼミまでの準備に関する感想と反省

この度、合同ゼミまでの準備段階で一番に実感した事は、一人一人の役割分担を的確に行えた事が、当日の成功に非常に重要な要素だったと思いました。

準備期間は、春学期末から始まり、本格的に内容をつめて行くのは、秋学期当初からとなりますが、統括をするリーダー、参考文献での情報収集者、インターネットでの情報収集者、パワーポイントの作成者、表・グラフの作成者、プレゼンテーションの発表者など様々な役割分担を設けて、ゼミの場で毎週各自がデータを持ち合い事が、内容の充実したプレゼンテーション作りに繋がったのだと思います。

勿論、皆仲良くチームワークを大事にする事が第一条件ですね。

準備期間中には、ゼミ内でリハーサルのディベートを実施しましたが、相手チームへの反論、さらに反論に対する反論と、本番に向けて実践的な機会があり、様々な想定が出来たのは、非常に良かったと思いました。

## ○合同ゼミにおける報告内容とそれに対する質疑の概要

感想でも述べましたが、お互いのディベートテーマのずれにより、十分な議論が出来なかった事が、非常に残念でした。

終身雇用制について本番で急遽決定した、離職率、人材の教育、女性労働者の待遇、社員のモチベーション、人件費、組織内のチームワークという論議のポイントに対して、困難な状況ではありましたが、企業特殊人的資本、企業内訓練、ジョブ・ローテーション、長期雇用の経済合理性、という観点から、自分達の主張が十分にできた事が非常に良かったと思います。

相手チームの主張に対しても、論点からのずれ、裏付けとなるグラフ・資料の不足など、的確に指摘する事が出来ましたし、勿論、相手チームの反論に対しても迅速かつ的確な応答が出来ました。

また、質疑での発言者の偏りがなく、5人全員が、積極的な主張、反論、応答が良い結果に繋がったと思います。

## ○合同ゼミに対する感想と反省

この度、合同ゼミを終えて感じた事は、長期に渡り準備をしてきた事が、お互いのディベートテーマにずれが生じてしまい、十分に議論出来なかった事が非常に残念でした。

しかし、5人で1つのモノを作り上げた過程は、間違いなく意味のあるものとなりました

し、チーム皆で、楽しめた事が何よりの思い出になったと振り返ります。

機会がなければ、経験も出来なかったでしょうし、最後までチーム皆、一丸となれた事が最高の収穫でした。

学生時代に、他大学とこのような貴重な体験が出来るゼミというのも、中々ありませんし、今後も継続されていく事を願っております。

以上となりますが、最後にこのような場を設けて頂いた、先生、スタッフの方々には大変感謝しております。

有難うございました。

松本健